

感染症対策の専門家、日本の着付と茶道を初体験！

感染症とは、細菌やウイルスなどの病原体の感染により生じる病気の総称です。世界は常に多くの感染症が発生・流行し、途上国での子どもの死亡原因の大きな割合を占めているのです。**3大感染症（エイズ、結核、マラリア）**では毎年300万人以上の人々が亡くなっています。

本研修コースでは、**中国、コンゴ民主共和国、ガボン、ガーナ、ケニア、リベリア、ナイジェリア、ウガンダ、ザンビア**から感染症対策の医師・保健省技官が熊本医療センターと国立感染症研究所はじめ国立感染症研究所、国立国際医療研究センターにて、感染症アウトブレイクの際の一連の対応について学びます。



このようなハードな研修スケジュールの中、日本の文化も体験してもらうため、**12月8日（日）熊本医療センター**にて、日本の着物の着付けとお茶会を体験します。講師は、熊本で長年活躍されている**日本現代和装研究会の代表の木下先生ほか和装の先生方**です。美しく凛々しい晴れ姿の取材・報道をぜひご検討ください。

- 研修名 : **重症感染症などアウトブレイク対応強化のための実地疫学（管理者向け）**
- 研修期間 : 2019年11月17日～2019年12月15日
- 研修員 : 女性4名、男性7名 計11名です。
- 受託機関 : **独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター**

日付	時間	内容	場所
12/8日	10:00～ 12:00	着物着付け・茶会体験 女性4名 はあでやかな振袖、男性7名の研修員 は凛々しく紋付袴を本格的に着付けてもらい、茶会にもチャレンジします。	熊本医療センター2F 研修センター 熊本県熊本市中央区二の丸1-5

本プレスリリースはウェブサイトでもご覧いただけます。 <https://www.jica.go.jp/kyushu/press/index.html>

問い合わせ先 JICA九州センター研修業務課 小川、古谷 093-671-8355